



平成 22 年度実施状況

財政健全化計画

着実に進む

財政健全化

平成22年度決算が確定し、財政健全化計画の実施項目の着実な実施等により平成23年度決算をもって財政健全化団体からの脱却が確実となりました。

計画第2年度となります平成22年度について、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき議会に報告し公表しなければならぬとされています『決算との関係を明らかにした財政健全化計画の実施状況』の概要をお知らせします。

平成22年度においては、計画初年度から実施している高齢者入浴事業の利用者負担、一般入浴事業の使用料の改正に加えて、当初から計画されている具体的な財源確保と歳出抑制の措置を概ね計画どおりに実施しました。また、検討事項のうち新たに実施した議員報酬の削減や農業委員会定数の見直し、繰上償還の実施等もあり、計画以上の効果を生み出すことができたことなどから、平成22年度決算においても健全化判断比率は、すべて計画より良い結果となっています。

なお、実施状況の詳細については、町ホームページをご覧ください



ただくか、税務財政課財政健全化推進グループまでお問い合わせください。

健全化判断比率の状況

年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		第 2 年度 (平成 22 年度)		第 3 年度 (平成 23 年度)	第 4 年度 (平成 24 年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
健全化判断比率	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
実質赤字比率	— (15.00)	— (15.00)	— (14.98)	— (15.00)	— (14.87)	— (15.00)	— (15.00)
連結実質赤字比率	— (20.00)	— (20.00)	— (19.98)	— (20.00)	— (19.87)	— (20.00)	— (20.00)
実質公債費比率	29.8 (25.0)	28.5 (25.0)	28.3 (25.0)	27.3 (25.0)	25.5 (25.0)	25.2 (25.0)	23.9 (25.0)
将来負担比率	240.3 (350.0)	212.1 (350.0)	198.4 (350.0)	221.7 (350.0)	155.8 (350.0)	212.5 (350.0)	204.1 (350.0)

各健全化判断比率の () 内の数値は、早期健全化基準の数値です。